

関係機関によるがん検診受診率向上の取り組みについて

資料1-1

取り組み項目		(1)がん				
指標項目	1	75歳未満のがんの年齢調整死亡率の減少 (10万人当たり)	基準値		実績値	目標値
			H22		H31	R5
			79.8		69.2	70.0
	2	がん検診受診率の向上 (市が実施するがん検診の他、職場検診、 人間ドック等を含む)	基準値		実績値	目標値
			H23		H30	R5
			肺	19.9%	31.0%	40%
			胃	28.7%	38.9%	40%
大腸			27.9%	37.4%	40%	
		乳	46.3%	48.9%	50%	
		子宮頸	37.3%	42.6%	50%	
取り組み施策		概 要				
1	発症予防	禁煙やバランスのとれた食事等がんに対する正しい知識の普及等を行い、がんの発症を予防する。				
2	早期発見	がん検診について、市民にわかりやすい情報提供や、企業や団体等と連携した啓発等をすすめることにより、がん検診の受診率向上を図る。				
3	情報発信・相談支援	がんサロンの支援やがんの治療、在宅医療に関する情報提供等を行い、患者や家族を支援する。				

1. 令和3年度の関係機関・団体における主な取り組み状況等

具体的な内容等	
1	<p>口腔ガンに対するポスター等による啓発【熊本市歯科医師会】</p> <p>がん医療研修会を開催し、より良い服薬指導ができるようがん治療の理解を深める。【熊本市薬剤師会】</p> <p>発症予防のための食支援として健康づくりのための食習慣の推奨【熊本県栄養士会】</p> <p>包括と保健子ども課との連携によるデータ収集【熊本市地域包括支援センター連絡協議会】</p> <p>事業場の産業保健スタッフ等を対象とした、生活習慣病の予防、禁煙の健康影響に関する研修会を実施している。【熊本産業保健総合支援センター】</p> <p>体育科保健領域において、生活習慣病など生活行動が主な原因となって起こる病気の予防には、適切な運動、栄養の偏りのない食事をとることなど、望ましい生活習慣を身につける必要があること、喫煙や飲酒などの行為は健康を損なう原因になることを学習している。【熊本市小学校校長会】</p> <p>また、地域では、保健にかかわる様々な活動が行われていることについても学習する。生涯にわたって心身の健康を保持増進できるよう学習に取り組んでいる。【熊本市小学校校長会】</p> <p>事業場における治療と仕事の両立支援のためのガイドラインの周知(がんに関する部分を同封します)【熊本労働基準監督署】</p> <p>熊本市スポーツ推進委員協議会は、地域でのスポーツ関連事業の連絡調整及び実技指導等を行っています。年に一度、市の推進委員が集まり全体で研修会を行っており、R3年度研修会の中で、第2次健康くまもと21概要版を使って講習を行いました。【熊本市スポーツ推進委員協議会】</p> <p>生活習慣病予防のために、調理実習や講習会を通し、減塩の重要性や、野菜摂取量増加、食事バランスガイドの普及のための活動を実施した。【熊本市食生活改善推進員協議会】</p> <p>情報発信として、市が実施する検診や人間ドッグの案内を行い、受診を促すよう努めました。【熊本農業協同組合】</p> <p>・各校区等にて「健康教室」を計画していましたが、昨年来のコロナ禍が収束しない為、継続的な展開が出来なかった。【健康まちづくりを推進する東区の代表】</p> <p>・がん発症予防のためには生活習慣病等の予防、禁煙のすすめ等が重要と考え、「栄養」「運動」「社会参加」の3本柱を基本として、サロン活動等を計画・継続展開を計画していたが、コロナ禍が収束せず、継続的な活動が出来なかったため、熊本市発行の「食のきほん」「運動手帖3種」「運動機能向上」「通いの場」等を配布し、生活不活発病予防に努めた。【健康まちづくりを推進する東区の代表】</p> <p>紐協だよりを通じてのロコモティブシンドロームに関する資料提供【健康まちづくりを推進する西区の代表】</p> <p>ささえりあによる、フレイル予防のための体力測定とアドバイス【健康まちづくりを推進する西区の代表】</p> <p>特定検診の案内と後期高齢者健診・歯科口腔検診のチラシ印刷配布【健康まちづくりを推進する西区の代表】</p> <p>健康まちづくり委員会で実施している「歩け歩け大会」を通して、健康に関心を向けてもらおう取組【健康まちづくりを推進する西区の代表】</p>

	熊大口腔外科と連携し画像による早期診断体制の確立【熊本市歯科医師会】
	シティエフエム放送「健康サロン」でがん予防・がん検診についてアナウンスした。(令和3年5月19日)【熊本県看護協会】
	がんサロンや在宅医療に関する研修会への積極的な参加による理解【熊本市地域包括支援センター連絡協議会】
	加入事業所宛に生活習慣病予防健診(胃・肺・大腸・乳・子宮がん項目を含む)のご案内を送付し、受診率向上を図っている。【全国健康保険協会熊本支部】
	40歳以上の被扶養者個人宛に、市町村主催の集団健診のご案内を送付(特定の市町村に限る)し、受診率の向上を図っている。【全国健康保険協会熊本支部】
	産業医の選任義務のない労働者数50人未満の事業場を対象に、地域産業保健センターの支援として定期健康診断の有所見者に対する医師の意見聴取や保健指導等を実施している。【熊本産業保健総合支援センター】
	ほとんどの幼稚園・認定こども園では4月に教職員の健康診断をしており、検診結果を基に各自が病院等で再検査をしています。【熊本市私立幼稚園・認定こども園協会】
2	学校保健安全法に基づき、毎年度4月～6月末に健康診断を実施。結果については全児童及び保護者に通知し、検査や治療等適切な事後措置を行う。【熊本市小学校校長会】
	また、心身に疾病や異常が認められず、健康と認められる児童等についても事後措置として通知し、健康の保持増進に役立っている。また、毎日健康観察を行っている。【熊本市小学校校長会】
	担任や養護教諭を中心に教職員の連携の下、健康観察の結果をもとに健康相談や保健指導につなぐ。日々の継続的な実施により児童等に自他の健康に関心をもたせ自己管理能力育成に取り組むとともに、心身の健康に心配がある場合は相談できる力を身につけることができるようにしている。【熊本市小学校校長会】
	職員に対しては、毎年度実施される定期健康診断や、希望者への人間ドック受診など、積極的に健康管理に努めるよう促している。健康診断結果等についても、必要な職員については、受診や検査を促している。【熊本市小学校校長会】
	昨年健康くまもと21推進会議に参加したのちに、熊本市PTA協議会の3役会及び常任理事会において会議参加報告とともに、定期検診や歯科検診、がん検診の積極的な受診が必要であることを提案しました。また、熊本市において様々な取り組みがなされている旨を説明し、我々子育て世代が今から健康に関して意識することにより、がんだけではなく様々な健康リスクを早期のうちに対策することにより、日々の生活が安心安全に迎えられるのではないかと提案しました。【熊本市PTA協議会】
	協議会内で、特定検診やがん検診について啓発した。【熊本市食生活改善推進員協議会】
	禁煙を勧める為に研修会を開き禁煙指導薬剤師を養成、薬局での禁煙指導を行っている。【熊本市薬剤師会】
	がん患者様の在宅支援のため必要な無菌調剤が、無菌調剤室を設置していない薬局でもできるように、共有できる無菌調剤室を会営薬局(西部薬局)に設置した。【熊本市薬剤師会】
	無菌調剤室共有のために必要な無菌調剤の研修を2回、実施研修を1回、行った。【熊本市薬剤師会】
	訪問看護師により、在宅療養を行うがん患者の退院支援や訪問看護によるケアおよび相談対応等療養生活を支援【熊本県看護協会】
	がんに関する基本的知識や化学療法、放射線療法などの治療について正しい知識を患者ケアに活かすための研修会を開催した。(令和3年9月24日 参加者看護職54名)【熊本県看護協会】
3	在宅療法を行うがん患者の退院支援の実際やQOL向上を目指したケアを提供するために看護職を対象に研修会を開催した。(令和3年11月25日 参加者看護職73名)【熊本県看護協会】
	検診受診率の向上のため、高齢者サロン等での周知と啓発【熊本市地域包括支援センター連絡協議会】
	がん等の病気になっても治療しながら働き続けることができる環境を支援する「治療と仕事の両立支援」の啓発・支援や、ガンに関する様々な情報をホームページやメールマガジンにて情報発信している。【熊本産業保健総合支援センター】
	生活習慣の大切さや病気の予防等について保健だよりで情報を発信したり、喫煙、飲酒、薬物乱用防止教室を行い、正しい知識を児童が身に付け、行動できるよう取り組んでいる。また、学校保健委員会を開催し、望ましい生活習慣を身に付けることができるよう、学校と家庭が連携して取組を進めている。【熊本市小学校校長会】

2. 令和4年度からの関係機関・団体における新たな取り組み

今年度の新たな取り組み	個人的には以前総合病院で勤務していたため、他科からがん患者が精神的に不安が強くなり治療を拒否するようになった時には精神科を受診するように紹介を受けたことはあります。今後も抑うつ状態があり自傷行為などの危険がある患者や、亡くられる期間がある程度わかられている方の緩和ケア的な対応に関して相談されるのは良いと思います。【熊本県精神科協会】
	①未成年者の喫煙の及ぼす影響について(R4.5.18)のアナウンス実施 ※ 「がん予防・がん検診」の内容については継続実施(R4.5.11) ②県内13支部(うち熊本市内3支部)で開催している「まちの保健室」において、「がん検診」受診促進のリーフレットを配布し啓発に努める。【熊本県看護協会】
	がん予防について、在宅でできる事として、生活習慣からの取り組み等学ぶ機会を増やす。【熊本市地域包括支援センター連絡協議会】
	早期発見の取組を引き続き3役会及び常任理事会で提言していくとともに、熊本市の公式LINEアカウントの登録・加入をお願いしていきます。特に健康に関わることを受信してもらうために、興味あることのチェックボックスに健康関係を入れてもらうよう案内してまいります。 また、常任理事会で各区の代表が参加するので、区ごとに情報を共有してもらえるような仕組みを考えております。最近では紙媒体で配布するよりも、PDFデータ等で直接メールやLINE等で送付するほうが回覧率が高いと思われますので、各種啓発活動用のチラシがあれば、PTAからのご案内として、熊本市の取組みに協力していることを提案してまいります。積極的なデータご提供をお願いできればと思います。 【熊本市PTA協議会】
	地域住民(高齢者)が集い、健康づくりを促進するための地域ボランティアによる事業立ち上げ(地域支え合い型通所サービス)【健康まちづくりを推進する西区の代表】

3. 新型コロナウイルス感染拡大防止に関連したがんに関する取組等の実績や取組予定

新型コロナウイルス感染拡大防止に関連した取組み	がん患者様等の、感染リスクがある患者様に投与される治療薬の取り扱い薬局に登録し、患者様への服薬指導や副作用等の情報を提供し、より良い治療効果と副作用防止ができるよう取り組んでいる。【熊本市薬剤師会】
	重症化リスクがある対象者であるため、感染管理等に関する研修に力を入れている。【熊本県看護協会】
	新型コロナ感染に伴う受診控え等で発見や治療が遅れている現状を理解し、高齢者及びご家族の異常の早期発見や早期受診の促し等、業務内でできることから行う。
	熊本市からの案内や提案等がございましたら、積極的に共有してまいります。【熊本市地域包括支援センター連絡協議会】
	コロナ禍で調理実習に制限があるため、生活習慣予防のための簡単レシピを掲載したリーフレットを配布した。【熊本市食生活改善推進員協議会】
	・がんに関する取組みの該当はありませんが、「3密」を防止する等感染拡大防止をお願いするパンフレットを感染すると重症化しやすい高齢者等を対象に配布しました。【健康まちづくりを推進する東区の代表】
	社協だよりでのコロナワクチン接種案内【健康まちづくりを推進する西区の代表】

4. 令和3年度の行政における主な取り組み状況等

取り組み状況等	
1	医療機関等の関係機関から発信される、がんや生活習慣病に関する研修案内を、ささえりあ圏域のネットワークで発信、地域の定例会や地域活動で紹介、啓発を実施。(高齢者支援センターささえりあ実施)【高齢福祉課】
	高齢者サロン、民生委員等を対象に検診の案内、終末期医療・在宅医療の啓発を行った。(高齢者支援センターささえりあ実施)【高齢福祉課】
	子宮頸がん予防接種の情報提供として、定期予防接種の標準的な接種年齢とされている中学1年生とともに定期予防接種の最終学年である高校1年生相当に対して、リーフレットなどの資料を個別に送付した。【感染症対策課】
	民児協議会等、地域の会議時に、がん検診に関する啓発(25回、499人)を実施し、COPD・禁煙等に関する啓発は実施できなかった。コロナ禍にて、地域の健康イベント等や定例的なサークル、サロンも休止となる中啓発が難しかった。【中央区保険子ども課】
	新型コロナウイルス感染拡大防止による地域活動の休止等もあり啓発の機会が少なかったが、民協議会や高齢者サロンにて、がん検診のリーフレットを配布し啓発を行った。【東区保健子ども課】
	幼児健診にて、保護者を対象にがん検診のリーフレットを配布し啓発を行った。【東区保健子ども課】
	健康まちづくり推進員協議会総会(書面開催)や子育て支援ネットワーク会議(書面開催)にて、がん検診のリーフレットを送付し啓発を行った。【東区保健子ども課】
	新型コロナウイルス感染拡大防止による地域活動の休止等もあり啓発の機会が少なかったが、子育てサークル、子育て支援ネットワーク会議、高齢者サロン、民協議会、社協長会議、自治協議会、健康まちづくり推進員会、8020推進員養成講座、食生活改善推進員養成講座等でがん検診等に関する情報提供やリーフレットを配布し、受診勧奨及び啓発を行った。【南区保健子ども課】
	幼児健診にて、保護者を対象にがん検診のリーフレットを配布し、啓発を行った。【南区保健子ども課】
	がんの一次予防のため、喫煙(受動喫煙を含む。)、生活習慣病対策、食育、栄養改善、歯科保健等の健康増進事業を行うとともに、また、インセンティブ事業として市民の健康行動に対し、ポイントを付与し、抽選で商品が当たる健康ポイント事業を行っている。【健康づくり推進課】
2	特定健康診査受診券交付時の同封文書にがん検診について掲載し、受診勧奨をおこなった。(国保特定健康診査対象者約10.5千人)【国保年金課】
	特定健診実施機関一覧表において、がん検診(大腸、胃、乳、子宮)の実施状況も併せて掲載し、受診勧奨を実施した。【国保年金課】
	市役所ロビー等などを利用した啓発ブースやイベント等の機会を活用し、受動喫煙に関する情報提供や日常生活における生活習慣病の予防法等について啓発を実施した。【健康づくり推進課】
	国の指針に基づき、肺・胃・大腸・乳・子宮頸がんの5種の検診を実施した。【健康づくり推進課】
	各種がん検診について、市政だより、市ホームページ、ラジオ等で受診勧奨の広報を実施した。【健康づくり推進課】
	乳がん・子宮頸がん検診において、対象年齢となる偶数年齢者の受診期間を5月末まで猶予する特例受診許可証を発行した。【健康づくり推進課】
	令和3年10月～令和4年3月に大腸がん郵送検診を実施した。【健康づくり推進課】
	協会けんぽやがん対策協定企業等との連携による受診率向上のための啓発を実施した。 ・協会けんぽ扶養者への特定受診券送付時に市がん検診の案内を同封 ・協会けんぽ加入者に、集団検診の受診勧奨を実施(植木・城南地区の集団検診) ・がん対策協定企業へ情報提供や広報を依頼 【健康づくり推進課】
	がん検診対象者へ個別に受診勧奨通知を送付した。 ・乳がん及び子宮頸がん無料クーポン券及び再受診勧奨はがき (乳がん・40歳女性、子宮頸がん・20歳女性) ・大腸がん郵送検診はがき(満40・50・60歳になる市民) ・乳がん検診受診勧奨通知(満42・44・46・48・52・54・56・58歳になる女性) ・子宮頸がん検診受診勧奨通知(満20・22・24・26・28・30・32・34・36・38歳になる女性) ・がん検診のお知らせ(満62、66、68、70歳になる市民) ・乳がん検診次年度対象者への受診勧奨通知(次年度満42・44・46・48・52・54・56・58歳になる女性) ・子宮頸がん検診次年度対象者への受診勧奨通知(満20・22・24・26・28・30・32・34・36・38歳になる女性) 【健康づくり推進課】
	令和3年10月から40歳代の市民を対象に胃がんリスク検査を実施した。【健康づくり推進課】

3	働き世代や子育て世代を対象にしたがんサロンを毎月1回開催し、がん患者を支援(令和3年はコロナの感染状況をみて、7月、10月、11月、12月開催)【医療政策課】
	がんに関する悩みや不安への相談対応及び治療法に関する情報発信等を行う「がんサポートセンター」を開設(平成25年7月1日) 令和3年度の相談件数:35件【医療政策課】

5. 令和4年度からの行政における新たな取り組み

新たな取り組み ※継続事業は記載の必要はありません	<ul style="list-style-type: none"> ・がんに関する情報及び相談先を記載したチラシをショッピングセンターに設置予定 ・熊本市がん対策企業等連携協定締結企業・団体へチラシを配布し情報共有を行う。 <p style="text-align: right;">【医療政策課】</p>
	<p>子宮頸がん予防接種の積極的勧奨が再開され、定期予防接種の標準的な接種年齢とされている中学1年生とともに定期予防接種の最終学年である高校1年生相当に対して、個別通知による勧奨を実施する。</p> <p>また、積極的勧奨が控えられた時期に接種機会を逃した平成9年度から平成17年度生まれの9学年を対象に、令和4年4月から3年間(令和4年度～令和6年度)公費による接種を実施すると決定されたことから、令和4年4月よりキャッチアップ接種として実施。</p> <p>併せて、積極的勧奨中断の間に定期接種の機会を逃し、対象年齢を過ぎてから任意で接種した方への費用助成を令和4年9月から令和7年3月まで実施する。【感染症対策課】</p>
	令和4年度からこれまで集団健診のみで行ってきた肺がんの個別検診を実施することとしている。(12月開始予定)【健康づくり推進課】

6. 新型コロナウイルス感染拡大防止に関連したがんに関する取組等の実績や取組予定

新型コロナウイルス感染拡大防止に関連した取組み ※1.2と重複可	令和2年度(9月)から集団健診において、検診機関に消毒液・マスクの配布を行い、感染症対策に対応するスタッフを増員しながら実施している。【健康づくり推進課】
	令和3年度から自宅にいながら受診できる大腸がん郵送検診を、期間を延長して実施している。【健康づくり推進課】

※参考(1)														
熊本市がん検診受診率(全人口による算出) 職場健診、人間ドック等は含まず														
		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R1年度	R2年度	R3年度			
肺がん	対象者数(全人口)	406,159	411,324	416,188	420,702	418,206	426,774	429,748	432,496	435,170	437,184			
	受診者数	22,861	22,579	22,443	22,679	20,000	21,233	21,142	20,748	17,071	19,015			
	肺がん受診率	5.6%	5.5%	5.4%	5.4%	4.8%	5.0%	4.9%	4.8%	3.9%	4.3%			
胃がん	対象者数(全人口)	406,159	411,324	416,188	420,702	418,206	426,774	429,748	432,496	435,170	437,184	※参考(2)		
	受診者数	10,556	10,107	9,904	9,477	8,658	8,952	8,930	10,596	9,972	11,205	無料クーポン利用率		
	胃がん受診率	2.6%	2.5%	2.4%	2.3%	3.2%	3.0%	2.9%	3.4%	3.8%	4.0%	(R3実績)		
大腸がん	対象者数(全人口)	406,159	411,324	416,188	420,702	418,206	426,774	429,748	432,496	435,170	437,184			
	受診者数	22,670	22,467	22,194	22,512	18,108	19,763	21,817	21,725	19,781	22,436			
	大腸がん受診率	5.6%	5.5%	5.3%	5.4%	4.3%	4.6%	5.1%	5.0%	4.5%	5.1%	(単位:人)		
乳がん	対象者数(全人口)	223,671	226,426	228,879	231,220	230,316	233,702	235,310	236,738	238,142	239,202			
	受診者数	12,036	11,837	14,183	11,491	9,287	10,199	13,282	14,403	13,137	13,783			
	乳がん受診率	10.6%	9.9%	10.9%	10.6%	8.3%	8.1%	9.6%	11.4%	11.3%	11.0%	対象者 利用者 利用率		
子宮頸がん	対象者数(全人口)	316,947	317,693	318,399	318,762	319,447	317,810	318,049	318,096	318,681	318,596			
	受診者数	19,017	18,678	23,530	16,973	13,095	17,949	20,534	24,275	24,258	27,009			
	子宮頸がん受診率	12.0%	11.6%	13.0%	12.5%	8.9%	9.7%	12.0%	14.0%	15.2%	16.0%	4,703 980 20.8%		
												3,787 313 8.3%		